



# 2021年3月期第3四半期 決算短信補足説明資料

株式会社テリロジー



Securities code : 3356

# 会社概要

**TRILOGY**  
No.1 in Quality



IS 97125 / ISO27001  
EMS 513188 / ISO14001

- ◆社 名 : **株式会社テリロジー**  
代表取締役会長 津吹 憲男  
代表取締役社長 阿部 昭彦
- ◆本 社 所 在 地 : 東京都千代田区九段北1丁目13番5号
- ◆設 立 年 月 日 : 1989年7月14日
- ◆資 本 金 : 1,581百万円
- ◆売 上 高 : 4,051百万円 (2020年3月期)
- ◆主 な 株 主 構 成 : 役員、社員持株会  
NTTファイナンス株式会社ほか
- ◆取 引 銀 行 : みずほ銀行、三井住友銀行
- ◆グ ル ー プ 社 員 数 : 160名 (役員含む/2020年12月末現在)
- ◆関 係 会 社 : 株式会社テリロジーワークス  
株式会社テリロジーサービスウェア  
VNCS Global Solution Technology Joint Stock Company  
(ベトナム国ハノイ市)  
株式会社IGLOOO



テリロジー東京本社

# 2021年3月期第3四半期 業績説明

## 対前年同期比で大幅な増収・増益

### 売上・受注

- ネットワーク部門、セキュリティ部門の受注活動が引き続き堅調に推移したことで**売上高**は**増加**

売上高 : 3,161百万円 ( 13.4%増 374百万円増)  
受注高 : 4,017百万円 ( 52.4%増 1,380百万円増)  
受注残高 : 1,157百万円 (441.0%増 943百万円増)

(対前年比)

### 利益

- 新型コロナウイルス感染拡大での事業活動の中、売上高の増加と利益率の向上により**利益**は**増加**

経費 : 販管費等※ : 1,260百万円 (9.6%増 110百万円増)  
・増加要因 : 新卒・中途採用による人員増  
IGLOOO社新規連結







※売上原価「技術人件費」含む

営業利益 : 327百万円 (199百万円増、前期 128百万円)  
経常利益 : 341百万円 (200百万円増、前期 141百万円)  
四半期純利益 : 236百万円 (136百万円増、前期 100百万円)

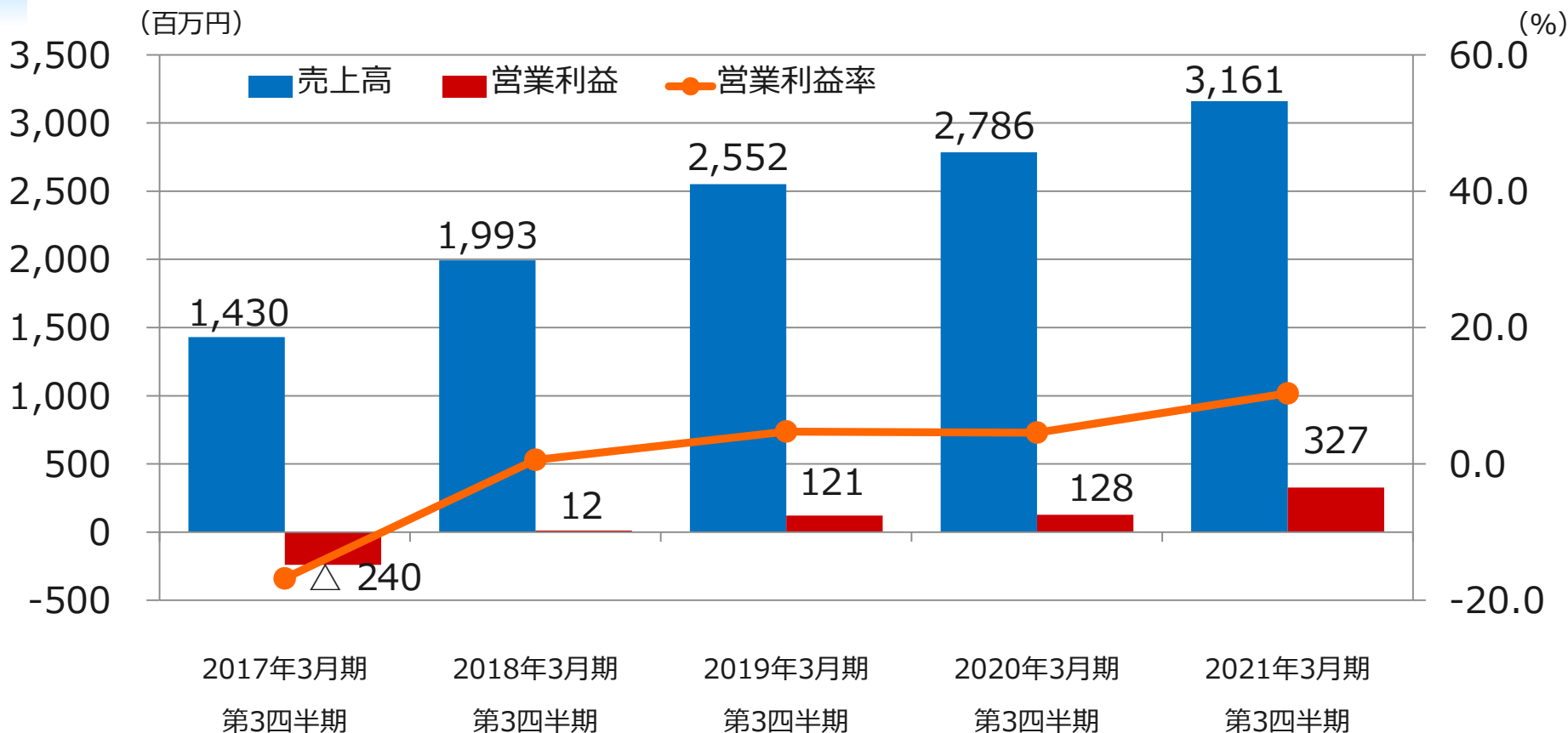
(対前年比)

# 損益計算書

## 対前年同期比で大幅な増収・増益

| (単位：百万円)             | 2020年3月期<br>第3四半期 |                | 2021年3月期<br>第3四半期  |         |
|----------------------|-------------------|----------------|--|---------|
|                      | 金額                | 金額             | 増減額  | 増減率 (%) |
| 売上高                  | 2,786             | <b>3,161</b>   |  374  | 13.4%   |
| 売上総利益                | 1,045             | <b>1,309</b>   |  263  | 25.2%   |
| 販売管理費                | 917               | <b>981</b>     |  64   | 7.0%    |
| 営業利益                 | 128               | <b>327</b>     |  199  | 156.0%  |
| 経常利益                 | 141               | <b>341</b>     |  200  | 141.8%  |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 100               | <b>236</b>     |  136 | 136.2%  |
| 為替レート (ドル)           | 108.47円           | <b>106.11円</b> |  |         |
| 1株当たり四半期純利益          | 6円10銭             | <b>14円28銭</b>  |  |         |
| 自己資本比率               | 57.0%             | <b>53.6%</b>   |  |         |

# 第3四半期累計期間売上高・営業利益推移



| 決算期   | 2017年3月期<br>第3四半期 | 2018年3月期<br>第3四半期 | 2019年3月期<br>第3四半期 | 2020年3月期<br>第3四半期 | 2021年3月期<br>第3四半期 |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上高   | 1,430百万円          | 1,993百万円          | 2,552百万円          | 2,786百万円          | 3,161百万円          |
| 営業利益  | △240百万円           | 12百万円             | 121百万円            | 128百万円            | 327百万円            |
| 営業利益率 | △16.8%            | 0.6%              | 4.7%              | 4.6%              | 10.4%             |

「Infoblox」製品はリプレース需要から受注案件が増加し、  
「Radware」製品は前総販売代理店からの顧客の巻取り活動が堅調

**増収**

売上高：1,005百万円（売上高構成比：31.8%）  
対前年同期比：357百万円増、増減率：55.2%増

## ■トピックス

- ・ IPアドレス管理サーバ「Infoblox」製品は、新モデルへのリプレース需要によりユーザ管理システム構築案件、DNSセキュリティ案件のほか、これらの大型案件を受注
  - ▶教育機関、国内製造業など案件数：48件／159台（2020年12月末現在受注状況）
- ・ Wi-Fi利用の拡大からセキュアなクラウド型無線LAN「Extreme Networks（旧Aerohive）」製品は受注活動に注力
  - ▶テレワーク、フリーアドレス制導入による企業内ネットワーク構築案件
- ・ 今期より販売を開始した「Radware」製品は、前総販売代理店からの顧客の巻き取り活動により次世代ネットワーク最適化案件など、受注活動は堅調に推移
  - ▶受注金額：156百万円、今期保守売上見込：48百万円（2020年12月末現在）

国際的なスポーツ競技大会の開催延期、  
社会生活や経済活動でのインターネットへの依存度の高まりから  
サイバー攻撃の脅威が増大

増収

売上高：1,168百万円（売上高構成比：37.0%）  
対前年同期比：172百万円増、増減率：17.3%増

## ■トピックス

- ・サイバー攻撃の脅威が増大する中、サイバー犯罪、サイバーテロ等に関する情報を収集分析する「KELA」サイバースレットインテリジェンスサービスは、警察庁から5年契約の大型案件を受注
- ・OT/IoTの普及によりサイバー攻撃の脅威が拡大したことで、電力系などの重要インフラや工場及びビル管理などの産業制御システムに対するセキュリティ対策が緊急を要することから「Nozomi Networks」製品の引き合いは堅調
- ・特定の組織、企業などを標的にしたサイバー攻撃に備えたサイバーセキュリティ対策への取り組みが増加
  - ▶ネットワーク不正侵入防御セキュリティ・・・TippingPoint
  - ▶標的型攻撃対策クラウドサービス・・・LastLine
  - ▶ワンタイムパスワード・・・OneSpan（旧VASCO）
  - ▶ネットワーク脆弱性診断サービス・・・RedSeal+Rapid7
- ・テレワークの急増で需要が高まるAWS、Microsoft365などのSaaSのログ分析・管理/SIEMプラットフォーム「SumoLogic」の引合いが増加



新型コロナウイルスの感染拡大による在宅勤務の急速な広がりから  
ネットワークのデータ通信量は増加傾向に

売上高：421百万円（売上高構成比：13.3%）  
対前年同期比：117百万円減、増減率：21.8%減

## ■トピックス

- ・テレワークの急速な普及によるネットワークの負荷やセキュリティリスクの高まりから、当社グループ独自のパケットキャプチャ製品「momentum」を採用したネットワーク監視やセキュリティ対策、トラブルシューティング対応などの案件の受注獲得に注力
  - ▶中央官庁向けネットワークモニタリング大型案件
- ・Microsoft365などSaaSのパフォーマンスを可視化して問題の原因を追究する  
当社開発の運用監視クラウドサービス「CloudTriage」は、当社グループの主要顧客に向け受注活動に注力

新型コロナウイルスの感染拡大による在留外国人対応の「みえる通訳」、  
「Zoom」などのビデオ会議は需要が増加

売上高：566百万円（売上高構成比：17.9%）  
対前年同期比：37百万円減、増減率：6.3%減

## ■トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大から、在留外国人やろう者（手話）対応の「みえる通訳」は自治体や医療機関での需要が増加
  - ▶自治体：深谷市、瑞穂町、十日町市、富谷市、流山市、湖南省
  - ▶医療機関：東京都福祉保健局、大阪医科大学付属病院、大阪市立総合医療センター、市立東大阪医療センター
  - ▶その他：東京都つながり創成財団、足立区社会福祉協議会、東近江市社会福祉協議会
- ・「みえる通訳」で培った経験から新たなビジネスモデルの創出へ
  - ▶海外拠点や海外取引先との商談での「みえる通訳」と連携した遠隔通訳サービス
  - ▶通訳オペレーターを活用した翻訳サービス
- ・リモートワークや在宅勤務の標準化ツールとなった「Zoom」は、人事・営業部門、教育機関、医療機関、研究機関等からの引き合いが増加し、契約件数は増加
  - ▶採用面接、研修、イベント等のオンライン化によりWEBセミナーの引き合いが急増
  - ▶多様なケースに対応した附帯機器需要も堅調
- ・自社開発の究極的にカンタンなRPAツール「EzAvater」の販売強化に注力
  - ▶販売代理店網の拡大強化とブランドの知名度向上のマーケティング活動
    - ・EzAvater販売代理店：9社（2020年12月末現在）
  - ▶特定業界に向けたパッケージ化による需要拡大

# 2021年3月期 業績予想

# 2021年3月期 業績予想の修正

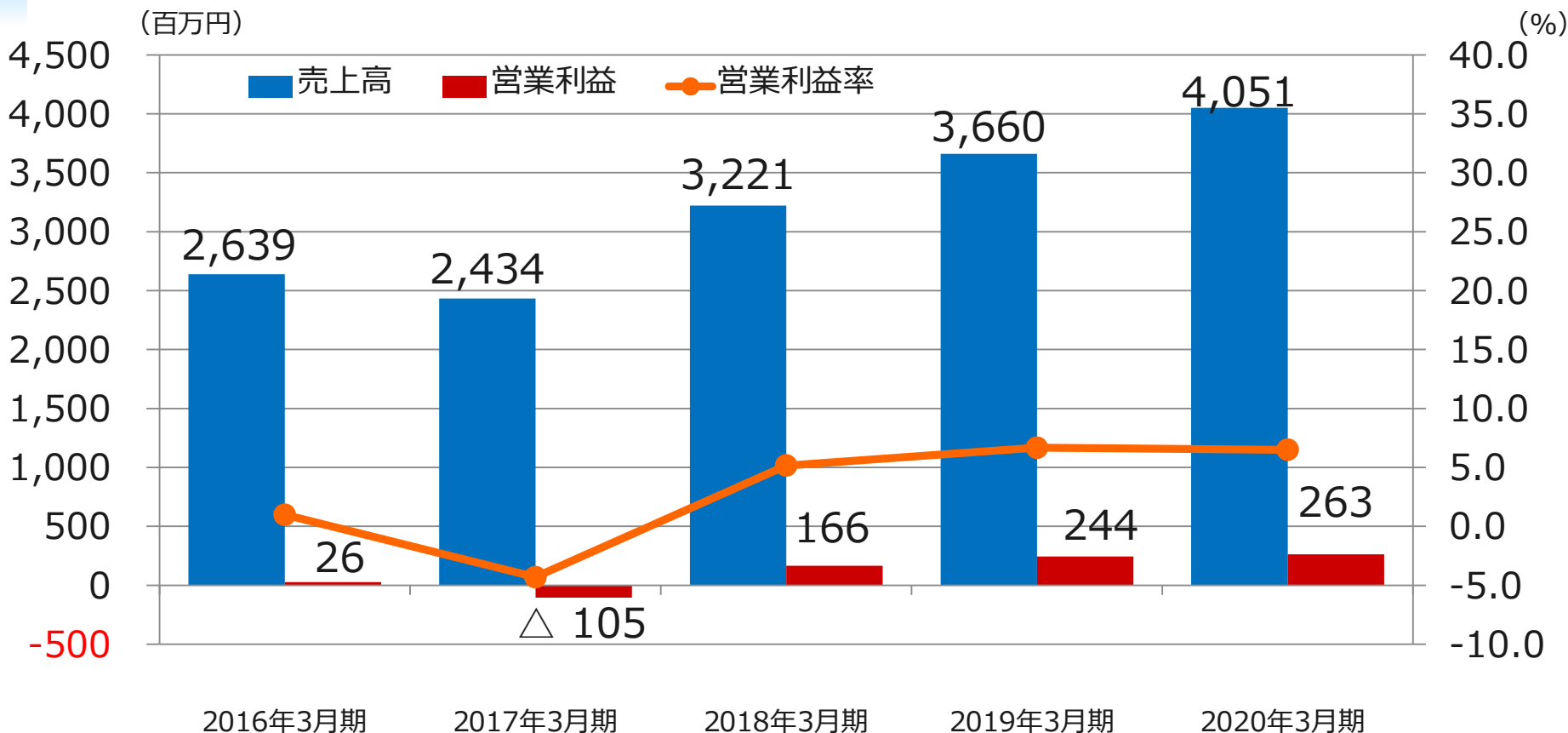
2021年3月期第3四半期までの好調な業績を受け、  
通期業績予想を上方修正

| (単位：百万円)                     | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------------|-------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A)<br>(2020年5月14日公表) | 4,180 | 200   | 200   | 140                     | 8円44銭          |
| 今回修正予想 (B)<br>(2021年2月10日公表) | 4,646 | 480   | 495   | 357                     | 21円53銭         |
| 増減額<br>(B - A)               | 466   | 280   | 295   | 217                     |                |
| 増減率 (%)                      | 11.1  | 140.0 | 147.5 | 155.0                   |                |
| (ご参考) 前期実績<br>(2020年 3月期)    | 4,051 | 263   | 288   | 214                     | 13円03銭         |

# 2021年3月期 業績予想

| (単位：百万円)            | 2020年3月期<br>実績 |                | 2021年3月期予想<br>(2021年2月10日公表) |         |
|---------------------|----------------|----------------|------------------------------|---------|
|                     | 金額             | 金額             | 増減額                          | 増減率 (%) |
| 売上高                 | 4,051          | <b>4,646</b>   | 595                          | 14.7%   |
| 売上総利益               | 1,513          | <b>1,855</b>   | 342                          | 22.6%   |
| 販売管理費               | 1,249          | <b>1,375</b>   | 126                          | 10.1%   |
| 営業利益                | 263            | <b>480</b>     | 217                          | 82.0%   |
| 経常利益                | 288            | <b>495</b>     | 207                          | 71.9%   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 214            | <b>357</b>     | 143                          | 66.3%   |
| 為替レート (ドル)          | 108.75円        | <b>108.34円</b> |                              |         |
| 1株当たり当期純利益          | 13円03銭         | <b>21円53銭</b>  |                              |         |
| 年間配当金               | 5円00銭          | <b>5円00銭</b>   |                              |         |
| 配当性向 (連結)           | 38.4%          | <b>23.2%</b>   |                              |         |

# ご参考 売上高・営業利益の推移（最近5カ年）



| 決算期   | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高   | 2,639百万円 | 2,434百万円 | 3,221百万円 | 3,660百万円 | 4,051百万円 |
| 営業利益  | 26百万円    | △105百万円  | 166百万円   | 244百万円   | 263百万円   |
| 営業利益率 | 1.0%     | △4.3%    | 5.1%     | 6.6%     | 6.5%     |



## [免責事項]

- 本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーは責任を負うものではありません。
- また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。

### 【お問い合わせ先】

広報宣伝・IR担当  
TEL:03-3237-3291  
E-mail : ir@terilogy.com